

日田高校定時制 学校だより ♪希望・理想・使命♪

あげましておめでとうございます

新

しい年を迎えて一週間あまり。アルバイトをしている生徒にとって忙しい年末年始だったのではないのでしょうか。冬休みも昨日で終わり、3学期が始まりました。長い2学期に比べると、あっという間に終わってしまう学期なので、一日一日を大切に思いながら過ごしてほしいと思います。

さて、77日間あった2学期、定時制の大きな特徴である行事が多く実施されました。今回は、10月以降の学校の様子について特集します。

(参考までに、本校のホームページでは行事の様子がすぐにアップされます。更新の頻度が高いことが自慢です。ぜひアクセスしてご覧になってください。)

10

月の行事は・・・

ネットトラブル・情報モラル安全出前授業



ハイパーネットワーク研究所の柳佳奈恵さんを講師に迎えて行われました。ネット利用者が各世代90%を超える中、ネットトラブルも増加しています。情報が氾濫している中で正しい情報を入手するには、普段から信頼できる情報源を確保しておくことが大切であるということ、熊本・大分地震を例にとって説明してくれました。また、プライバシー権や肖像権について相手の許可もなくスクショやRTをすると、次々とネット上で拡散され刑事事件や民事事件に発展する恐ろしさを教えてくれました。

最後に、SNSの有効な活用法も紹介してもらい、情報モラルについて考えるいい機会となりました。

18歳選挙に
向けて
主権者教育

22日に実施される衆議院議員選挙に向けて、主権者教育を行いました。現在日田高校定時制39名の生徒のうち、29名の生徒が18歳以上で有権者となります。講師の小野先生から、実際の入場券を開封しながら、入場券に書いていること、投票の仕方、小選挙区、比例代表区等について、投票することの大切さや若者が投票することの意義を具体的に分かりやすく説明してもらいました。生徒の中にはすでに期日前投票を終えた者も中にはいました。

最後に「君たちの世代が存在しない人になるのか、注目される人になるのか、君たちの投票にかかっている」との言葉で締めくくり講義を終えました。

いのちの講演会

今年のいのちの講演会は、大阪で介護事業所「凡」を経営している細川鉄平さんにお越し頂き、「じぶん」とは何か、何をもち「じぶん」を語ることができるのかについて話してもらいました。

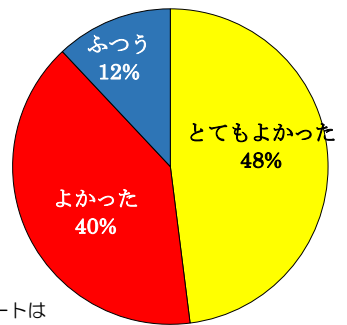
高校生活が楽しいと思えない毎日。進路のことも考えたくない時、「めっちゃいい時給」だから始めた介護のバイト。利用者に対する敬意が感じられない介護現場、意思疎通ができないとされた利用者から「ありがとう」と言われ、驚きの連続。たった

1つの施設の中でも、自分の知らない世界はたくさんあって、そこで生活する人同士が絡み合って世界は回っていると気づく。一人でいろいろ考えてきたけど他者がいることで「じぶん」がつけられていることがわかった～というような話だったでしょうか。

生徒のみなさんが、アンケートに書いてくれた感想は…

- ・「関西弁でとても面白くて、少しぐだぐだだったのが楽しかった」「おもしろかった」のような、話し方や、話が面白かったのが、7人
- ・「知らない世界を知ることが出来た」「介護の話が詳しく聞けてよかった」のような介護のことを知って良かったのが、7人
- ・「生きていたら、いろんな所にキーポイントがあるんだな」「面白いとも言えて、伝えたい内容も話していた」「それなりに納得」という1人ずつの少数意見
- ・話がよくわからなかったのが、2人
- ・未記入が3人

ところが、実際に感想を聞くと、「普通の話で聞かなくても良かった」「ケーブルテレビが気になって落ち着かんかった」「内容いまいちだった」と教えてくれました。きっと、アンケートは講師の方も見るとあって、気遣ってくれたのでしょう。振り返りの時間などでは、本音で話しかけません。定時制は本音で語れる学校でありたいものです。



Editor's Note 【編集後記】

冬休みはどうでしたか。穏やかなお正月を迎えることができましたか。

私は、いつものようにニューイヤー駅伝と箱根駅伝を見て、家でゴロゴロと過ごし、ちょっと大原神社と高塚地藏尊に初詣に出掛け、また家でゴロゴロする…といういつもの正月休みでした。今日から3学期がスタート。新たな目標をたてて頑張っていきましょう。

